

『マイケル登場』

今回のセールは3日間、初日はアポを入れてフロア会場のすぐ隣で特別の下見をさせて貰いました。セールは1点だけ参加、Lot1164の香港18セントに16セントか刷のY1カバー、ロンドン宛、預かり札は強かったのですが、スタートがHK\$15000、競りに競ってのハンマーがHK\$90000=108万円、相手はテレフォンのT23、まだまだ上でも行きそうでした。予想通りの完敗でした。

この時点では、やっぱり奴が現れた、ここ数年の、在日外国局をやたらと強い札でビッドする、ライバル泣かせの中国本土からの電話入札かなと思っていました。でも結論はもっと劇的、フロアに出たからこそ判る事実があったのです。

ビッドしたのは、マイケルと呼ばれるご老人、背が高く、頬と顎に白髪を蓄えた、やせっぽちののっぽさん。他のテレフォンの受付は、現地の英語が出来る女の子達、10回線近くでやっていて、T23だけが特別扱い、兎も角強い、全部がノンリミットではないけれど、指折り数えれば、25勝3敗かな。こちらも、競ったのは結構強い預かり札でのバトルだったけど、1勝10敗で掠りもせず。

さてマイケル爺さんの素性ですが、意外な動きで割れました。何点かのカバーを落として、彼がコール「エクステンション・ISJP」、その瞬間、オークショナーのクークルが彼を指指して笑うのです。お前がやるのだろう・・・わざわざコールしなくても・・・の雰囲気でした。だから、マイケル爺さんは、M.E.Ruggiero、横浜の国際展から続いてやって来たのでしょうか。ただ、このオークションハウスでの立場は判らないし、少なくとも、オークションの記事のディスクリプションはやっていません。ルジエロなら間違えないミスが一杯ありましたから。私もそれなりの付き合いは有るのですが、直接接したのは20年ぶり、1991年の国際展の時、直前に手に入れた、「改色20銭り」をISJPで鑑定してよ、といったら、お前が自分で(日本サイドで)やれ、と蹴られて以来なので、誰かが判らなかつたのです。遠からず、彼のコレクションも、いや高齢化著しい、その他の在米のISJPのメンバーのそれも、このオークションに出てくるでしょう。このパターンは、私にとってもベストです。日本に出されたり、NYでやられるよりは納得できる勝負になりますから。願わくは動けるタイミングの日程であって欲しいのです。

さて、T23の落札品と値段を円で書きましょう。想像を超える衝撃的な内容です。

Lot1533 竜200文2版、500文他貼 角検 青 204万

Lot1663 デグロン発カバー 43万

Lot1667 KANAGAWA 領事館印押し 電話入札が7回線? スタートコールが10万ドル、マイケルが、ウザイトばかりに20万ドルのコール、この値段240万円で落札、汚いカバー。

Lot1670~1671 在日米国局 YOKOHAMA 36万~43万

Lot1672 HYOOGO スタンプレス 36万

Lot1676 ネギ5銭貼 上海クロスロード 東京宛 46万

Lot1677 改色10銭ニ、旧小5銭貼 NEWCHANG 発 上海クロスロード 米宛 96万

Lot1692 日中コンビネーションカナダ宛 角型不統一 72万

Lot1697 旧小判5銭貼 上海発 クロスロード 米不足税1セント貼 38万

Lot2425 リヨン発コハニー宛 コンビネーションカバー 228万

Lot2426 改色10銭ニ貼仏宛 小型ゴルフボール 24万

Lot2465 Y1書留 300万

Lot2466 Y1最新データ 132万

アナライズすれば、落ちた値段の高安は競る相手がいたかどうかです。在日外国局に熱心というよりも、中国がらみも含めて、手彫と旧小判の純日本のカバーも落としています。ライバルが強力ならばインパクトのある値段で落ちますが、マテリアルのチョイスは別の基準でしょう。切手は不要ですが、共通のテーマは「日本」です。今回のビッドも、推測ですが、コレクター本人でなく、アメリカのディーラーがテレフォンビッドをやったかも。願望を込めるなら、弊社の日中コンビ、大竜貼ハワイ宛の900万で負けた人がこのパターン、去年のスイス、GossouのCHIANI(キアニーと読む)セールでの、竜文貼カバー=あたかもヤフーでのTomopu・・・の出品の如き、状態抜群ながら、消印は角検や関西圏の平凡な地名入り検査済を日本の相場の5倍で落とした人物も同一人だと思えるのです。当たっているなら、日本でのオークションの雰囲気が一気に変わるかもしれません。期待を込めて注視いたしましょう。

T23が負けた?数点の場での相手のビッダーは中国系、Lot1681 旧小判5銭貼 © I.J.PostalAgency FOOCHOW =紫印が薄くて読めない・・・は84万、E-Bayでお馴染みのアリゾナの彼が買いました。中々の好青年で、横浜でわざわざブースに来てくれたので、新中国切手をかなり売って、出品物を預かって、香港どうするの?と聞いたら、にやり笑って、一杯買わない、少しだけと言っていました、36番の札で、ロットも、カバーも、冠の未使用田型や切手帳の完本まで随分元気に買っていました。でも、私が降りて彼というのは全くなく、全てはその逆のパターンで、商売としては大丈夫かな、といささか心配な買いつぶりだったのです。中国物は大金が稼げるから・・・と言っていましたけど。

Lot1684 小竜・U小判5銭のコンビネーション 180万、Lot1685 小判封皮角型(左部1センチカット)にU小判1銭、2銭貼 4字SHANGHAI 48万は、パドル39番さんが場で落札、中国人のコレクターと見ました。中国人は、人を信じないので、絶対にメールビッドを入れません。だからこの結果は他では起きない、この場限りの刹那の数字に過ぎません。

T23のお買い上げは、私が途中からチェックを入れたものだけでも、2000万円を超えています。当然ながら、扱いもVIP、マイケル爺さんが結構うろうろして会場から消えていて、電話入札のロットが来た時など、クーグルが必死で、お〜いマイケル戻って来い、とやってみましたけど。

私は前回のセールは下見だけして、ビッドはエージェントに預けました。その時も随分、ビッドを気にしてもらったし、今回も下見も、ビッドも随分特別の留意をして貰ったと思

います。Dynasty は、超老舗のアメリカのオークションハウス=Daniel F. Kelleher の子会社です。時流に乗って中国マネー狙いでの香港進出ですが、2回目で大きく組織が動いています。現地での運営に PHILA CHINA の人脈を使ったのです。突然の引越しも意外だったのですが、場所はワン・チャイのかのオークションハウスそのものでした。旧知の Anne Lee 女史が迎えてくれて、随分助かりました。彼女は有名な中国人コレクターの娘で、アメリカのオークショナーの元妻だとか。ラリー・ギブソンやデービッド・クーグル以上にてきぱき動いていましたよ。・・・続く